

花巻空港建築施設維持管理更新計画

令和3年3月

岩手県県土整備部

花巻空港建築施設維持管理更新計画

目 次

1	はじめに.....	3
(1)	目的.....	3
(2)	対象施設.....	3
(3)	計画期間等.....	4
2	基本的な取組方針.....	4
(1)	基本的な取組事項.....	4
(2)	重点取組事項.....	4
3	対象施設の現状把握.....	4
(1)	所管施設の概況.....	4
(2)	所管施設の老朽化等の状況.....	5
4	長寿命化対策の優先順位の考え方.....	5
(1)	優先度評価（1次評価）.....	5
(2)	優先度評価（2次評価）.....	6
(3)	総合判定.....	6
5	施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組.....	7
(1)	長寿命化対策の概要.....	7
(2)	施設の目標使用年数.....	7
(3)	標準更新周期と標準更新単価.....	8
6	環境負荷低減とユニバーサルデザイン化への取組.....	8
7	施設利用者の安全・安心の確保に向けた取組.....	8
(1)	効率的な耐震化等対策の実施.....	8
(2)	高度の危険性が認められた場合の対応.....	8
8	優先度評価結果.....	8
9	施設ごとの対応方針.....	9
(1)	施設保有の最適化.....	9
(2)	長寿命化等対策の内容と実施時期.....	9
(3)	計画期間中における維持管理更新のための概算経費.....	10
(4)	予算平準化・経費縮減の具体的な取組.....	11
様式1	個別施設計画（個票）	
No. 1	旧貨物ターミナル.....	12
No. 2	事務所（旧建設事務所）.....	14
No. 3	照明器材庫.....	16
No. 4	車庫（旧建設事務所）.....	18
No. 5	消防車庫.....	20
No. 6	電源局舎（旧電源局舎）.....	22

No. 7	資器材庫（旧除雪車格納庫）.....	24
No. 8	花巻空港除雪車庫.....	26
No. 9	花巻空港電源局舎.....	28
No. 10	空港ターミナルビル（増築棟）.....	30
No. 11	空港ターミナルビル（新增築-南）.....	32
No. 12	空港ターミナルビル（新增築-北）.....	34

1 はじめに

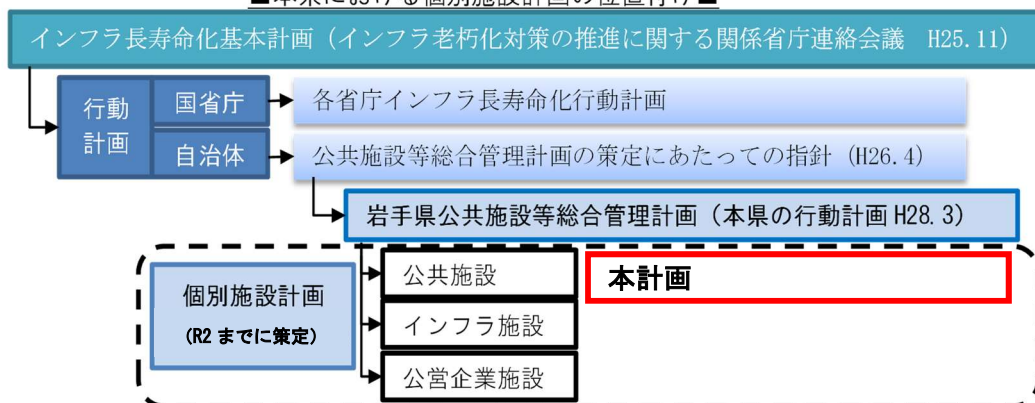
(1) 目的

県では、公共施設等の全体状況を把握し、計画的な更新や長寿命化、施設配置の最適化により、財政負担の軽減、平準化を図るなど長期的な視点に立った公共施設マネジメントの取組を推進するため、平成28年3月に「岩手県公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という）」を策定した。

この総合管理計画に基づき、施設類型ごとの具体的な対応方針を定める個別施設計画については、国の「インフラ長寿命化基本計画」のロードマップにおいて令和2年度までの策定が求められている。

「花巻空港建築施設維持管理更新計画（以下、「本計画」という）」は、花巻空港内にある県が所管する建築施設について、利用状況及び建物性能・劣化状況等の総合評価を行い、長期的な視点をもって、更新、統廃合、長寿命化などの具体の対応方針を定めるために策定するものである。

■本県における個別施設計画の位置付け■



(2) 対象施設

花巻空港内にある県が所管する公共施設のうち延床面積が100㎡以上の次の建築施設を本計画の対象とする。

【施設一覧】

No.	施設名	所在地（県・地番等省略）	建築年	延床面積
1	旧貨物ターミナルビル	花巻市葛第3地割	昭和38年	405.9㎡
2	事務所（旧建設事務所）	花巻市葛第3地割	昭和52年	358.5㎡
3	照明器材庫	花巻市葛第3地割	昭和45年	164.9㎡
4	車庫（旧建設事務所）	花巻市葛第3地割	昭和53年	105.0㎡
5	消防車庫	花巻市葛第3地割	昭和57年	496.8㎡
6	電源局舎（旧電源局舎）	花巻市葛第3地割	昭和56年	344.5㎡
7	資器材庫（旧除雪車格納庫）	花巻市葛第3地割	昭和60年	287.9㎡
8	花巻空港除雪車庫	花巻市東宮野目第2地割	平成18年	1,766.8㎡
9	花巻空港電源局舎	花巻市葛第5地割	平成16年	574.6㎡
10	空港ターミナルビル（増築棟）	花巻市東宮野目第2地割	平成23年	544.6㎡
11	空港ターミナルビル（新增築-南）	花巻市東宮野目第2地割	平成27年	854.6㎡
12	空港ターミナルビル（新增築-北）	花巻市東宮野目第2地割	平成28年	771.8㎡

(3) 計画期間等

計画期間は令和2年度から令和32年度までとする。施設ごとの対策計画期間は、令和2年度から令和6年度までとし、対策計画期間終了時に計画の更新を行う。

2 基本的な取組方針

(1) 基本的な取組事項

建築基準法に基づく定期点検の実施等により、施設利用者等の安全・安心の確保に努めているところ。

今後は、老朽化に伴う維持管理や修繕、更新等に要する経費の増大が懸念されることから、施設の利用状況、施設利用需要の変化等を見据えた施設規模・総量等の適正化を図るとともに、計画的な維持管理・長寿命化を推進する。

(2) 重点取組事項

ア 施設保有の最適化に向けた取組

優先度評価（P5の「4 長寿命化対策の優先順位の考え方」を参照）の結果、「転用・複合化」に分類された施設においては、今後の利用見込み等を踏まえ、施設保有の最適化に向けて取り組む。

イ 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

建物性能・劣化度など老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案しつつ、今後とも長期間にわたり、県が保有し行政サービスを提供することが適当な施設を選別して計画的に長寿命化を実施する。

計画的な維持管理と長寿命化の推進により、公共施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。

ウ 環境負荷低減とユニバーサルデザイン化への取組

施設の改修や更新にあたっては、環境負荷の低減に取り組むとともに、すべての人が安全で快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインに対応した施設の改修・更新に取り組む。

エ 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

計画的な耐震化の推進や定期・日常的な点検・診断結果を受けた適時適切な修繕により、公共施設に求められる機能を維持・強化し、県民、施設利用者等の安全・安心の確保に取り組む。

3 対象施設の現状把握

(1) 施設の概況

対象施設については、岩手県公共施設個別施設計画策定指針（平成29年3月。以下「県指針」という。）に基づき、個別施設計画（個票）（様式

1) 等により、建物、電気・機械設備の状況や定期点検の実施状況等について確認した。

(2) 老朽化等の状況

対象施設における老朽化等の状況は、岩手県公共施設点検マニュアル(平成 29 年 3 月。以下「県点検マニュアル」という。)に定める日常点検チェックシートにより確認した。

4 長寿命化対策の優先順位の考え方

建物性能、劣化度などの老朽化の状況や利用状況を総合的に勘案し、以下の優先度評価(1次評価、2次評価及び総合判定)により、個別施設計画(個票)(様式 1)にて県が保有し行政サービスを提供することが適当な施設を選別する。

(1) 優先度評価(1次評価)

ア 建物性能の評価

県点検マニュアルに定める日常点検チェックシートによる「簡易劣化度診断の結果」と「建築年代(経過年数)」を組み合わせ、建物性能の高低を評価する。

【建物性能評価(簡易劣化度診断結果と建築年代のマトリクス評価)】

		新		旧
		A類	B類	C類
	低	A判定 建物性能 高	B判定 建物性能 高-	C判定 建物性能 中
	中	B判定 建物性能 高-	C判定 建物性能 中	A判定 建物性能 低+
	高	C判定 建物性能 中	A判定 建物性能 低+	B判定 建物性能 低

イ 利用状況の評価

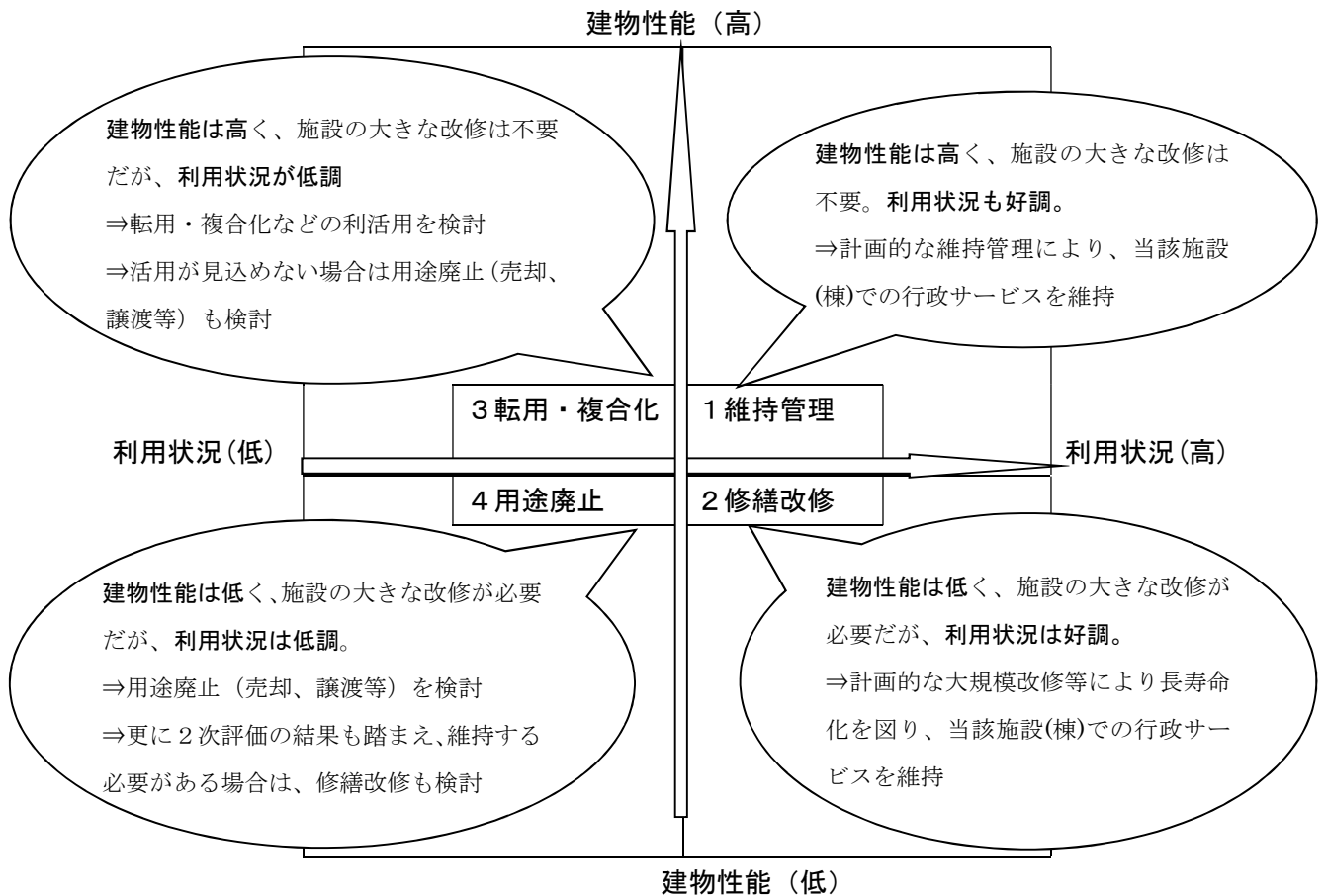
対象施設の利用状況について、高～中～低の3段階評価を行う。

評価基準は、高：常時使用・常駐している、中：使用しているが不定期利用である、低：未使用として判定を行う。

ウ 優先度評価(1次評価)概念図による分類

建物性能と利用状況の2軸評価により、長寿命化等の対策を行う施設(棟)と転用・複合化、用途廃止など新たな利活用に向けて検討する施設に分類する。

【優先度評価（1次評価）概念図】



(2) 優先度評価（2次評価）

1次評価により施設を分類後、「1次評価の妥当性を確認」とともに、長寿命化等の対策を行う施設（棟）の中で、「対策経費の平準化」を図るため、以下の視点1及び2に基づく重要度（施設サービスの重要性と今後の見通し）について、4段階評価を行う。

ア 視点1：提供する施設サービスの重要性

当該施設における「県によるサービス提供の妥当性」及び「代替サービス提供手法の有無」について精査し、点数を付して重要性について評価する。

イ 視点2：提供する施設の今後の見通し

当該施設の「多目的利用・複合化の可能性」、「利用者数増加の可能性」及び「施設余剰スペース活用の可能性」等について精査し、点数を付して今後の見通し（施設の将来性）について評価する。

(3) 総合判定

ア 1次評価の妥当性の確認

2次評価（重要度：施設サービスの重要性・今後の見通し）による4段階評価（Ⅰ～Ⅳ）を踏まえた総合判定により、1次評価による「維持管

理」、「修繕・改修」、「転用・複合化」又は「用途廃止」の分類の妥当性を確認する。

イ 対策経費の平準化

建物性能の3段階評価（高～低）と2次評価：施設サービスの重要性・今後の見通しによる4段階評価（Ⅰ～Ⅳ）を組み合わせ、対象経費の平準化を図るための優先順位付けを行う。

【建物性能と施設サービスの重要性・今後の見通しを組み合わせた優先順位づけ】

		施設サービスの重要性・今後の見通し			
		高 Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	低 Ⅳ
建物性能	低 A 判定	優先度 1	優先度 2	優先度 3	優先度 4
	B 判定	優先度 2	優先度 3	優先度 4	優先度 5
	高 C 判定	優先度 3	優先度 4	優先度 5	優先度 6

5 施設の長寿命化と経費負担の平準化に向けた取組

(1) 長寿命化対策の概要

建物性能・劣化度など老朽化の状況や利用状況などを総合的に勘案し、施設の長寿命化を図りつつ、以下のような対策を計画的に行う。

ア 修繕（更新）

部位・部材の耐用年数及び施設の利用状況や施設利用需要の変化等を考慮した計画的な修繕（更新）を行う。

イ 大規模修繕（リノベーション）

社会経済情勢の変化等により高まる要求性能に対応させる必要がある施設について、適切な時期を設定し効率的に実施する。

(2) 施設の目標使用年数

日本建築学会による鉄筋コンクリート構造体の総合的耐久性を基に、鉄筋コンクリート構造物については、目標使用年数を100年とする。また、その他の構造物については、施設構造ごとの法定耐用年数を最低限の目標使用年数として、利用状況に応じた計画的な長寿命化対策を実施することで、できるだけ使用年数を延ばしながら施設を取り巻く状況に応じて柔軟に対応する。

(3) 標準更新周期と標準更新単価

標準更新周期は、県指針「別表1」に掲げる「部位・部材別更新周期」、
「目標更新周期」のとおり設定する。

標準更新単価は、県指針「別表1」に掲げる床面積1㎡当たり換算（諸
経費、消費税含む。）のとおり設定する。

6 環境負荷低減とユニバーサルデザイン化への取組

再生可能エネルギー導入の検討や照明灯具のLED化など環境に配慮した材
料選定、施設の長寿命化による建設廃棄物の発生抑制など環境負荷の低減に取
り組むとともに、不特定多数の利用者がある空港ターミナルビル（No. 10、11、
12）に関しては、ユニバーサルデザインに配慮した施設の改修・更新の検討を
行う。

7 施設利用者等の安全・安心の確保に向けた取組

(1) 効率的な耐震化等対策の実施

耐震化等大規模改修工事の発注に当たっては、仮設コストの縮減や工期
の短縮等を図るため修繕（改修）工事と一括して発注するなど適切な時期
を設定し、効率的に実施する。

(2) 高度な危険性が認められた場合の対応

日常点検・診断を適切に実施し、施設の劣化状況のこまめな把握に努め、
適時適切な対策を実施する。

点検・診断により高度な危険性が認められた場合は、当該施設について
利用停止などの緊急措置を講じるとともに、同種・類似の施設についても
早急に点検・診断や予防措置を実施する。

8 優先度評価結果

「4 長寿命化対策の優先順位の考え方」に基づき実施した優先度評価の
結果は以下のとおりである。

No.	施設名	優先度評価									
		劣化度調査	建築年代	建物性能	利用度	1次評価	重要性	見通し	2次評価	総合判定	優先度
		A(高) > C(低)	高(新) > 低(旧)	高>低	高>低	維持管理 修繕改修 転用・複合化 用途廃止	90 ~ 10	+20 ~ -20	I (60点以上) II (60~50点) III (50~40点) IV (40点未満)	維持管理 修繕改修 転用・複合化 用途廃止	1>6
1	旧貨物ターミナルビル	A(高)	低(旧)	中	高	維持管理	65	-15	II (60~50点)	維持管理	優先度3
2	事務所(旧建設事務所)	A(高)	中	高一	低	転用・複合化	45	-15	IV (40点未満)	転用・複合化	優先度6
3	照明器材庫	A(高)	中	高一	中	維持管理	65	-15	II (60~50点)	維持管理	優先度4
4	車庫(旧建設事務所)	A(高)	中	高一	低	転用・複合化	45	-15	IV (40点未満)	転用・複合化	優先度6
5	消防車庫	A(高)	高(新)	高	中	維持管理	65	-15	II (60~50点)	維持管理	優先度4
6	電源局舎(旧電源局舎)	A(高)	高(新)	高	中	維持管理	65	-15	II (60~50点)	維持管理	優先度4
7	賓器材庫(旧除雪車格納庫)	A(高)	高(新)	高	中	維持管理	65	-15	II (60~50点)	維持管理	優先度4
8	花巻空港除雪車庫	A(高)	高(新)	高	高	維持管理	65	-15	II (60~50点)	維持管理	優先度4
9	花巻空港電源局舎	A(高)	高(新)	高	高	維持管理	65	-15	II (60~50点)	維持管理	優先度4
10	空港ターミナルビル(増築棟)	A(高)	高(新)	高	高	維持管理	85	-10	I (60点以上)	維持管理	優先度3
11	空港ターミナルビル(新增築-南)	A(高)	高(新)	高	高	維持管理	85	-10	I (60点以上)	維持管理	優先度3
12	空港ターミナルビル(新增築-北)	A(高)	高(新)	高	高	維持管理	85	-10	I (60点以上)	維持管理	優先度3

9 施設ごとの対応方針

(1) 施設保有の最適化

優先度評価により「転用・複合化」に分類された2施設については、現時点で老朽化等による修繕の必要が無いこと、一方で他用途への転用の見込みがないことから、現状利用するものとし、施設の長寿命化のための維持管理費は計上しない。なお、施設の老朽化等により、施設の継続利用が困難となった場合は、用途廃止（売却、譲渡等）も検討する。

(2) 長寿命化等対策の内容と実施時期

優先度評価結果により「維持管理」に分類された10施設については、平準化を考慮し、施設ごとの対策の内容と実施時期を整理する。

No.	施設名	計画期間 (上段：維持修繕、下段：更新)					
		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7～R 3 2年度
1	旧貨物ターミナルビル	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R7：建築・電気設備 R23～25：建築・電気設備・機械設備
2	事務所（旧建設事務所）	維持修繕・更新は行わない（現状利用）					
3	照明器材庫	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R30～32：建築・電気設備
4	車庫（旧建設事務所）	維持修繕・更新は行わない（現状利用）					
5	消防車庫	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	建築・電気設備・機械設備	R22：建築	
6	電源局舎（旧電源局舎）	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R21：建築
7	資器材庫（旧除雪車格納庫）	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R27：建築
8	花巻空港除雪車庫	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R10～12：建築・電気設備 R28～32：建築・電気設備・機械設備
9	花巻空港電源局舎	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R8～9：建築・電気設備・機械設備 R23～26：建築・電気設備・機械設備
10	空港ターミナルビル（増築棟）	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R13～14：建築・電気設備・機械設備
11	空港ターミナルビル（新增築-南）	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R15～17：建築・電気設備・機械設備
12	空港ターミナルビル（新增築-北）	日常点検に基づく維持修繕 (R2～R32)					
		-	-	-	-	-	R18～20：建築・電気設備・機械設備

※1 利用者の生命等に係る危急の修繕については、都度対応する。

(3) 計画期間中における維持管理更新のための概算経費

様式1「個別施設計画（個票）」等により、総額1,023百万円を見込んでいます。（内、維持経費249百万円、更新経費774百万円）

【内訳】

No.	施設名	概算経費 (維持経費)	概算経費 (更新経費)
1	旧貨物ターミナルビル	249百万円 (※)	60百万円 (R7:14百万円、R23~25:46百万円)
2	事務所（旧建設事務所）		0百万円
3	照明器材庫		15百万円 (R30~32:15百万円)
4	車庫（旧建設事務所）		0百万円
5	消防車庫		70百万円 (R5~6:54百万円、R22:16百万円)
6	電源局舎（旧電源局舎）		11百万円 (R21:11百万円)
7	資器材庫（旧除雪車格納庫）		9百万円 (R27:9百万円)
8	花巻空港除雪車庫		262百万円 (R10~12:62百万円、R28~32:200百万円)
9	花巻空港電源局舎		106百万円 (R8~9:25百万円、R23~26:81百万円)
10	空港ターミナルビル（増築棟）		23百万円 (R13~14:23百万円)
11	空港ターミナルビル（新增築-南）		41百万円 (R15~17:41百万円)
12	空港ターミナルビル（新增築-北）		37百万円 (R15~17:41百万円)
	設計費		140百万円 (更新年の前年度 10百万円×14回)

※年間維持管理費を過去5年間平均額の8百万円（×30年間）として計上。R2は予算額8.7≒9百万円を計上。

(4) 予算平準化・経費縮減の具体的な取組

ア 平準化への取組

- (ア) 部位・部材の更新等の経費が多額となり、単年度での執行が難しい場合は、複数年度に更新等を分割する。
- (イ) 更新施設が重複するなど予算に隔たりが生じる場合は、更新年度の前倒しや先送りにより、予算平準化の調整を行う。

イ 経費縮減の取組

- (ア) 県指針に基づく総合評価により「転用・複合化」となった2施設(No. 2, 4)については、現在の利用状況を考慮すると長寿命化を図る必要性が低いことから、維持管理費を計上しない。(縮減額：15百万円)
- (イ) 職員等が常駐する施設(No. 1, 5, 8, 9)や不特定多数の施設利用者がある施設(No. 10, 11, 12)を除いた3施設(No. 3, 6, 7)については、利用者・利用目的が限定的であることから修繕の緊急性が低く、現状で修繕を必要とする劣化が認められなかったことから、直近の更新1回を次周期に先送りする。(縮減額：64百万円)
- (ウ) 現時点で未更新の部位・部材の更新費用について、劣化状況等の調査結果により、早急な修繕等を要する箇所が無いことから、計上しない。(縮減額：139百万円)
- (エ) (ア)～(ウ)の取組により施設更新回数が減することに伴う設計費用の縮減。(縮減額：50百万円)

個別施設計画（個票）

番号	1	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	旧貨物ターミナルビル			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛第3地割183番1			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
1 施設内建物の概要					
番号：名称	1：旧貨物ターミナルビル				
構造	RC造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 1963 年 10 月				
建築：延床	405.90 m ²		405.90 m ²		
建物概要	屋根仕上 金属 外壁仕上 ALC板 床仕上 コンクリート直均し等 壁仕上 ケイカル板 天井仕上 石こうボード				
主な設備	受変電	配電盤 屋内形		低圧	
	発電				
	警報	自動火災報知設備 P形		非常警報装置 非常ベル	
	その他	防犯・入退室管理設備			
	冷暖房	方式 局所暖房方式（FFストーブ等）			
	換気	方式 三種換気（排気扇）			
	給水	方式 加圧送水方式 水源 公共水道			
	排水	排水先 浄化槽			
給湯	方式		局所式		
	種別		粉末消火		
利用状況	開館日数				
	延利用者				
	利用率				
	生徒/職員 1人当り面積 未活用				
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年12月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能	中			
	劣化：年数	高：A異常無	低		
	利用度	高			
	1次評価	維持管理			
	重要性	65：使用中であり、代替サービス提供施設等無し。			
	見通し	-15：多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない			
2次評価	II (60～50点)				
総合判定	維持管理	優先度3			
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	1	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	旧貨物ターミナルビル			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

<p><u>ア 社会経済情勢等の変化への対応</u> 貨物ターミナルビルは、昭和38年、花巻空港のターミナルビルとして建設されたが、その後2回の新ターミナルビルの建設により、施設の使用用途が変わってきている。現在は、県警航空隊事務所、北日本航空事務所、県倉庫として活用しており、引き続き施設の有効利用を図る。</p> <p><u>イ 公共施設の有効活用</u> 余剰スペースの活用については、県警航空隊事務所、北日本航空事務所として貸し出すなど、施設の有効活用を既に行っている。</p>

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適当であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

60 百万円					
	【概算費用内訳】		【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	-	一般財源	-	(対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)	
更新費					
建築	46	〃	46		
電気設備	8	〃	8		
機械設備	6	〃	6		

個別施設計画（個票）

番号	2	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	事務所（旧建設事務所）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛第3地割182番2			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

1 施設内建物の概要

番号：名称	2：事務所（旧建設事務所）				
構造	W 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 1977 年 3 月				
建築：延床	358.46 m ² …… 358.46 m ²				
建物概要	屋根仕上 スレート 外壁仕上 ALC板 床仕上 木製フローリング 壁仕上 木製 天井仕上 石こうボード				
主な設備	受変電	配電盤 屋内形			低圧
	発電				
警報	自動火災報知設備				非常警報装置
	その他				
冷暖房	方式				
	換気				
給水	方式				水源
	排水	排水先			
給湯	方式				
	種別				
利用状況	開館日数				
	延利用者				
未活用	利用率				
	生徒/職員				
劣化度調査	1人当り面積				
	未活用				
老朽化の状況	劣化度	実施年月：2020年12月			
	調査	結果：異常無し			
定期点検	定期点検	実施年月： 年 月			
	結果	結果：			
修繕履歴	修繕履歴	実施年月： 年 月			
	結果	結果：			
特記	特記				
建物性能	建物性能	高一			
	劣化：年数	高：A異常無	中		
利用度	利用度	低			
1次評価	1次評価	転用・複合化			
	重要性	45：資料・資材置場として使用しているが、維持管理を継続していく必要性は低い。			
見通し	見通し	-15：多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない			
2次評価	2次評価	IV (40点未満)			
総合判定	総合判定	転用・複合化	優先度 6		
	評価結果	余剰スペースの有効活用手段として、資料置場として活用しているが、特段必須とする施設ではない。 現在、特に修繕を要する箇所は無いことから、今後は維持修繕費を投資せずに現状利用とし、老朽化等により使用不可となった段階で使用廃止を検討するのが妥当。			

個別施設計画（個票）

番号	2	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	事務所（旧建設事務所）			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

ア 社会経済情勢等の変化への対応
昭和52年、花巻空港建設事務所として建設された。現在はその役目を終え、施設利用用途は資材置場となっている。
イ 公共施設の有効活用
余剰スペースの活用については、資料・資材置場として使用している。

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適当であるが、利用用途が限定され、一般利用等が見込まれないことなどから、予算を投じた積極的な維持管理を行う必要性は低く、現状利用を継続していくのが望ましいと考えられる。 ・施設の老朽化が進み、施設利用が困難となった段階で、取り壊し等の用途廃止が望ましい。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	維持修繕は行わない（現状利用）				

(3) 概算経費

0 百万円			
【概算費用内訳】		【財源内訳】	
(単位：百万円)			
維持管理費	0	一般財源	0
更新費			
建築	0	〃	0
電気設備	0	〃	0
機械設備	0	〃	0

個別施設計画（個票）

番号	3	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	照明器材庫			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛第3地割183番1			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

1 施設内建物の概要

番号：名称	3：照明器材庫				
構造	S 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 1970 年 10 月				
建築：延床	164.90 m ² 164.90 m ²				
建物概要	屋根仕上 スレート 外壁仕上 ALC板 床仕上 ビニル床タイル類 壁仕上 ケイカル板 天井仕上 石こうボード				
主な設備	受変電	配電盤 屋内形			低圧
	発電				
	警報	自動火災報知設備	非常警報装置		
	その他				
	冷暖房	方式			
	換気	方式 三種換気（排気扇）			
給水	方式 水道直結方式 水源 公共水道				
	排水	排水先 浄化槽			
給湯	方式				
	種別				
利用状況	開館日数				
	延利用者				
	利用率				
	生徒/職員 1人当り面積 未活用				
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年11月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能	高一			
	劣化：年数	高：A異常無	中		
	利用度	中			
	1次評価	維持管理			
	重要性	65：使用中であり、代替サービス提供施設等無し。			
見通し	-15：多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない				
	2次評価	II (60～50点)			
総合判定	維持管理	優先度 4			
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	3	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	照明器材庫			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

ア 社会経済情勢等の変化への対応
照明器材庫は、昭和45年に建設され、現在も照明器材庫として活用しており、引き続き施設の有効利用を図る。
イ 公共施設の有効活用
余剰スペースは特に存在しない。

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適切であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

15 百万円	
【概算費用内訳】	【財源内訳】
(単位：百万円)	
維持管理費	- 一般財源 - (対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)
更新費	
建築	13 " 13
電気設備	2 " 2
機械設備	0 " 0

個別施設計画（個票）

番号	4	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	車庫（旧建設事務所）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛第3地割182番2			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

1 施設内建物の概要

番号：名称	4：車庫（旧建設事務所）				
構造	W 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 1978 年 3 月				
建築：延床	105.00 m ²		105.00 m ²		
建物概要	屋根仕上 金属 外壁仕上 金属板貼 床仕上 コンクリート直均し等 壁仕上 仕上げなし 天井仕上 天井なし				
主な設備	受変電 配電盤 発電 警報 自動火災報知設備 非常警報装置 その他 冷暖房 方式 換気 方式 給水 方式 水源 排水 排水先 給湯 方式 消火 種別				
利用状況	開館日数 延利用者 利用率 生徒/職員 1人当り面積 未活用				
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年12月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能劣化：年数	高一 高：A異常無 中			
	利用度	低			
	1次評価	転用・複合化			
	重要性見通し	45：資料・資材置場として使用しているが、維持管理を継続していく必要性は低い。 -15：多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない			
	2次評価	IV(40点未満)			
総合判定	転用・複合化		優先度 6		
評価結果	余剰スペースの有効活用手段として、資料・資材置場として活用しているが、特段必須とする施設ではない。 現在、特に修繕を要する箇所は無いことから、今後は維持修繕費を投資せずに現状利用とし、老朽化等により使用不可となった段階で使用廃止を検討するのが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	4	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	車庫（旧建設事務所）			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

<p>ア 社会経済情勢等の変化への対応 昭和53年、花巻空港建設事務所車庫として建設された。現在はその役目を終え、施設利用用途は資料・資材置場となっている。</p> <p>イ 公共施設の有効活用 余剰スペースの活用については、資料・資材置場として使用している。</p>
--

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適当であるが、利用用途が限定され、一般利用等が見込まれないことなどから、予算を投じた積極的な維持管理を行う必要性は低く、現状利用を継続していくのが望ましいと考えられる。 ・施設の老朽化が進み、施設利用が困難となった段階で、取り壊し等の用途廃止が望ましい。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	維持修繕は行わない（現状利用）				

(3) 概算経費

0 百万円				
【概算費用内訳】		【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	0	一般財源	0	
更新費				
建築	0	"	0	
電気設備	0	"	0	
機械設備	0	"	0	

個別施設計画 (個票)

番号	5	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	消防車庫			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛第3地割183番1			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

1 施設内建物の概要

番号：名称	5: 除雪消防車庫				
構造	S 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 1982 年 12 月				
建築：延床	496.80 m ²		496.80 m ²		
建物概要	屋根仕上 金属 外壁仕上 ALC板 床仕上 コンクリート直均し等 壁仕上 仕上げなし 天井仕上 天井なし				
主な設備	受変電	配電盤 屋内形		低圧	
	発電				
	警報	自動火災報知設備		非常警報装置	
	その他				
	冷暖房	方式 局所暖房方式 (FFストーブ等)			
	換気	方式 三種換気 (排気扇)			
	給水	方式 水道直結方式 水源 公共水道			
排水	排水先	浄化槽			
	給湯	方式 局所式			
消火	種別	粉末消火			
利用状況	開館日数				
	延利用者				
	利用率				
	生徒/職員				
	1人当り面積				
未活用					
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年11月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能	高			
	劣化：年数	高：A異常無		高	
	利用度	中			
	1次評価	維持管理			
	重要性	65: 使用中であり、代替サービス提供施設等無し。			
見通し	見通し	-15: 多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない			
	2次評価	II (60~50点)			
総合判定	維持管理		優先度 4		
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	5	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	消防車庫			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

ア 社会経済情勢等の変化への対応
昭和57年、除雪消防車庫として建設され、現在は消防車庫として使用している。
イ 公共施設の有効活用
余剰スペースは特に存在しない。

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適切であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				
	建築・電気設備・機械設備 修繕・改修				

(3) 概算経費

70		百万円	
【概算費用内訳】	【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	-	一般財源	- (対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)
更新費			
建築	56	〃	56
電気設備	6	〃	6
機械設備	8	〃	8

個別施設計画（個票）

番号	6	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	電源局舎（旧電源局舎）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛第3地割183番1			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

1 施設内建物の概要

番号：名称	6：電源局舎（旧電源局舎）				
構造	RC 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 1981 年 3 月				
建築：延床	344.50 m ² 344.50 m ²				
建物概要	屋根仕上 押えコンクリートのまま 外壁仕上 コンクリート打放（+吹付） 床仕上 ビニル床タイル類 壁仕上 コンクリート打放 天井仕上 石こうボード				
主な設備	受変電	配電盤 屋内形			高压
	発電				
	警報	自動火災報知設備		非常警報装置	
	その他				
	冷暖房	方式			
	換気	方式 三種換気（排気扇）			
	給水	方式 水道直結方式 水源 公共水道			
	排水	排水先 浄化槽			
給湯	方式 局所式				
	種別 粉末消火				
利用状況	開館日数				
	延利用者				
	利用率				
	生徒/職員				
	1人当り面積				
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年11月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能	高			
	劣化：年数	高：A異常無		高	
	利用度	中			
	1次評価	維持管理			
	重要性	65：使用中であり、代替サービス提供施設等無し。			
	見通し	-15：多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない			
2次評価	II (60～50点)				
総合判定	維持管理		優先度 4		
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	6	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	電源局舎（旧電源局舎）			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

ア	社会経済情勢等の変化への対応 昭和56年、電源局舎として建設され、その後、新たに電源局舎が建設されたことから、現在は照明器材のメンテナンス場所として使用している。
イ	公共施設の有効活用 余剰スペースは特に存在しない。

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方 針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適切であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

11	百万円		
【概算費用内訳】	【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	-	一般財源	-
			(対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)
更新費			
建築	11	〃	11
電気設備	0	〃	0
機械設備	0	〃	0

個別施設計画（個票）

番号	7	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	資器材庫（旧除雪車格納庫）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛第3地割183番1			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

1 施設内建物の概要

番号：名称	7：資器材庫（旧除雪車格納庫）				
構造	S 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 1985 年 12 月				
建築：延床	257.00 m ²		287.90 m ²		
建物概要	屋根仕上 金属 外壁仕上 コンクリート打放（+吹付） 床仕上 コンクリート直均し等 壁仕上 塗装類 天井仕上 天井なし				
主な設備	受変電	配電盤			
	発電				
	警報	自動火災報知設備	非常警報装置		
	その他				
	冷暖房	方式	三種換気（排気扇）		
	換気	方式	水源		
	給水	方式	排水先		
利用状況	排水	方式	粉末消火		
	給湯	方式			
老朽化の状況	消火	種別			
	開館日数	実施年月：2020年11月			
	延利用者	結果：異常無し			
	利用率	実施年月： 年 月			
優先度	生徒/職員	結果：			
	1人当り面積	実施年月： 年 月			
	未活用	結果：			
	劣化度調査	実施年月： 年 月			
優先度	定期点検	結果：			
	修繕履歴	結果：			
	特記				
	建物性能	高			
	劣化：年数	高：A異常無	高		
	利用度	中			
優先度	1次評価	維持管理			
	重要性	65：使用中であり、代替サービス提供施設等無し。			
	見通し	-15：多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない			
	2次評価	II (60～50点)			
総合判定	維持管理	優先度 4			
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	7	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	資器材庫（旧除雪車格納庫）			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

<p>ア 社会経済情勢等の変化への対応</p> <p>昭和60年、除雪車格納庫として建設され、その後、新たに除雪車格納庫が建設されたことから、現在は医療資機材庫、消火材庫として、空港管理に必要な備蓄品の保管場所として使用している。</p> <p>イ 公共施設の有効活用</p> <p>余剰スペースは特に存在しない。</p>

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適当であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

9 百万円		【概算費用内訳】		【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	-	一般財源	-	(対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)		
更新費						
建築	9	"	9			
電気設備	0	"	0			
機械設備	0	"	0			

個別施設計画（個票）

番号	8	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	花巻空港除雪車庫			財産区分	行政財産
所在地	花巻市東宮野目第2地割355			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
1 施設内建物の概要					
番号：名称	8：花巻空港除雪車庫				
構造	S 造				
階数	地上 2 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 2006 年 2 月				
建築：延床	1,611.20 m ² 1,766.80 m ²				
建物概要	屋根仕上 金属 外壁仕上 金属板貼 床仕上 コンクリート直均し等 壁仕上 コンクリート打放 天井仕上 天井なし				
主な設備	受変電	配電盤 屋内形 低圧			
	発電				
	警報	自動火災報知設備 P形 非常警報装置 非常ベル			
	その他				
	冷暖房	方式 局所暖房方式（FFストーブ等）			
	換気	方式 三種換気（排気扇）			
	給水	方式 水道直結方式 水源 公共水道			
備	排水	排水先 公共下水道			
	給湯	方式 局所式			
消火	種別	粉末消火			
利用状況	開館日数				
	延利用者				
	利用率				
	生徒/職員 1人当り面積 未活用				
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年12月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能	高			
	劣化：年数	高：A異常無	高		
先度	利用度	高			
	1次評価	維持管理			
	重要性	65：使用中であり、代替サービス提供施設等無し。			
	見通し	-15：多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない			
	2次評価	II (60～50点)			
総合判定	維持管理	優先度 4			
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	8	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	花巻空港除雪車庫			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

ア 社会経済情勢等の変化への対応
除雪車両の増車に伴い既存の除雪車庫が手狭になったことなどから、平成18年に新たに除雪車庫が建設された。現在も引き続き除雪車の格納庫として使用している。
イ 公共施設の有効活用
余剰スペースは特に存在しない。

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適当であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

262		百万円	
【概算費用内訳】	【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	-	一般財源	- (対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)
更新費			
建築	200	〃	200
電気設備	35	〃	35
機械設備	27	〃	27

個別施設計画（個票）

番号	9	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	花巻空港電源局舎			財産区分	行政財産
所在地	花巻市葛第5地割376			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
1 施設内建物の概要					
番号：名称	9：花巻空港電源局舎				
構造	RC 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 2004 年 1 月				
建築：延床	518.10 m ² 574.60 m ²				
建物概要	屋根仕上 押えコンクリートのまま 外壁仕上 コンクリート打放(+吹付) 床仕上 ビニル床タイル類 壁仕上 ケイカル板 天井仕上 石こうボード				
主な設備	受変電 配電盤 屋内形 高圧 発電 屋内形 ディーゼル 警報 自動火災報知設備 P形 非常警報装置 非常ベル その他 冷暖房 方式 局所冷房方式(エアコン等) 換気 方式 三種換気(排気扇) 給水 方式 水道直結方式 水源 公共水道 排水 排水先 公共下水道 給湯 方式 局所式 消火 種別 粉末消火				
利用状況	開館日数 延利用者 利用率 生徒/職員 1人当り面積 未活用				
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年12月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能	高			
	劣化：年数	高：A異常無	高		
	利用度	高			
	1次評価	維持管理			
	重要性	65：使用中であり、代替サービス提供施設等無し。			
見通し	見通し	-15：多目的利用・複合化、利用者増等は見込めない			
	2次評価	II (60～50点)			
総合判定	維持管理	優先度 4			
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	9	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	花巻空港電源局舎			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

ア 社会経済情勢等の変化への対応
新ターミナルビルの建設に伴い、平成16年に新たに電源局舎が建設された。現在も引き続き電源局舎として使用している。
イ 公共施設の有効活用
余剰スペースは特に存在しない。

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適切であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

106		百万円	
【概算費用内訳】	【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	-	一般財源	- (対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)
更新費			
建築	65	〃	65
電気設備	17	〃	17
機械設備	23	〃	23

個別施設計画（個票）

番号	10	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	空港ターミナルビル（増築棟）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市東宮野目第2地割23番地他			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし

1 施設内建物の概要

番号：名称	10: 空港ターミナルビル（増築棟）				
構造	S 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 2011 年 6 月				
建築：延床	572.60 m ² 544.60 m ²				
建物概要	屋根仕上 押えコンクリートのまま 外壁仕上 ALC板 床仕上 ビニル床タイル類 壁仕上 壁紙 天井仕上 石こうボード				
主な設備	受変電 配電盤 発電 警報 自動火災報知設備 P形 非常警報装置 非常ベル その他 監視カメラ設備 冷暖房 方式 局所冷房方式（エアコン等） 換気 方式 三種換気（排気扇） 給水 方式 水源 排水 排水先 給湯 方式 消火 種別 粉末消火				
利用状況	開館日数 延利用者 利用率 生徒/職員 1人当り面積 未活用				
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年12月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能	高			
	劣化：年数	高：A異常無	高		
	利用度	高			
	1次評価	維持管理			
	重要性	85: 国際線関連施設あり、国際線定期便の就航や更なる誘致にあたり必須の施設である。			
見通し	2次評価	-10: 利用者増が見込めるものの、施設の多目的利用や複合化は見込めない。			
	2次評価	I (60点以上)			
総合判定	維持管理	優先度3			
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	10	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	空港ターミナルビル（増築棟）			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

<p>ア 社会経済情勢等の変化への対応</p> <p>定期就航便の拡大など需要の変化に対応し、国際線の受入機能の向上を図るため、平成23年に新ターミナルビルの増築を行い、国際線定期便の旅客スペース及び職員事務室として使用している。</p> <p>なお、新ターミナルビルは岩手県空港ターミナルビル株式会社が所有・管理しているが、国際線に係る増築部は岩手県が所有・管理している。</p> <p>イ 公共施設の有効活用</p> <p>余剰スペースは特に存在しない。</p>

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適切であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

23		百万円	
【概算費用内訳】	【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	-	一般財源	- (対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)
更新費			
建築	17	〃	17
電気設備	2	〃	2
機械設備	4	〃	4

個別施設計画（個票）

番号	11	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	空港ターミナルビル（新增築-南）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市東宮野目第2地割			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
1 施設内建物の概要					
番号：名称	11: 空港ターミナルビル（新增築-南）				
構造	S 造				
階数	地上 1 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 2015 年 12 月				
建築：延床	823.10 m ² 854.60 m ²				
建物概要	屋根仕上 押えコンクリートのまま 外壁仕上 ALC板 床仕上 ビニル床タイル類 壁仕上 ケイカル板 天井仕上 石こうボード				
主な設備	受変電	配電盤 屋内形 高圧		発電設備なし	
	発電				
	警報	自動火災報知設備 P形 非常放送			
	その他	拡声設備（構内放送設備） 誘導支援装置（音声誘導、トイレ呼び出し装置等） テレビ共同受信設備 監視カメラ設備			
設備	冷暖房	方式 冷温水方式（中央式冷暖）			
	換気	方式 一種換気（熱交換形換気扇）			
	給水	方式 加圧送水方式 水源 公共水道			
	排水	排水先 公共下水道			
備	給湯	方式 給湯設備なし			
	消火	種別 消火設備なし			
利用状況	開館日数	/			
	延利用者				
	利用率				
	生徒/職員 1人当り面積 未活用				
老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年12月 結果：異常無し			
	定期点検	実施年月： 年 月 結果：			
	修繕履歴	実施年月： 年 月 結果：			
	特記				
優先度	建物性能	高			
	劣化：年数	高：A異常無		高	
	利用度	高			
	1次評価	維持管理			
度	重要性	85: 国際線関連施設あり、国際線定期便の就航や更なる誘致にあたり必須の施設である。			
	見通し	-10: 利用者増が見込めるものの、施設の多目的利用や複合化は見込めない。			
	2次評価	I (60点以上)			
総合判定	維持管理	優先度 3			
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	11	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	空港ターミナルビル（新增築-南）			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

ア 社会経済情勢等の変化への対応
定期就航便の拡大など需要の変化に対応し、国際線の受入機能の向上を図るため、平成27年に新ターミナルビルの再増築を行い、新たな国際線定期便の旅客スペース及び職員事務室として使用している。 なお、新ターミナルビルは岩手県空港ターミナルビル株式会社が所有・管理しているが、国際線に係る増築部は岩手県が所有・管理している。
イ 公共施設の有効活用
余剰スペースは特に存在しない。

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適当であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

41		百万円	
【概算費用内訳】		【財源内訳】	
		(単位：百万円)	
維持管理費	-	一般財源	-
		(対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)	
更新費			
建築	27	"	27
電気設備	3	"	3
機械設備	11	"	11

個別施設計画（個票）

番号	12	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	空港ターミナルビル（新增築-北）			財産区分	行政財産
所在地	花巻市東宮野目第2地割			敷地面積	- m ²
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
1 施設内建物の概要					
番号：名称	12: 空港ターミナルビル（新增築-北）				
構造	S 造				
階数	地上 2 階 地下 0 階				
竣工年	西暦 2016 年 2 月				
建築：延床	397.40 m ² ; 771.80 m ²				
建物概要	屋根仕上 押えコンクリートのまま 外壁仕上 ALC板 床仕上 ビニル床タイル類 壁仕上 ケイカル板 天井仕上 石こうボード				
主な設備	受変電	配電盤 屋内形 高圧		発電設備無し	
	発電				
	警報	自動火災報知設備 P形 非常放送			
	その他	拡声設備（構内放送設備） 誘導支援装置（音声誘導、トイレ呼び出し装置等） テレビ共同受信設備 監視カメラ設備			
設備	冷暖房	方式 冷温水方式（中央式冷暖）			
	換気	方式 一種換気（熱交換形換気扇）			
	給水	方式 加圧送水方式 水源 公共水道			
	排水	排水先 公共下水道			
給湯	給湯	方式 給湯設備無し			
	消火	種別 屋内消火栓 屋外消火栓			
	利用状況	開館日数 延利用者 利用率 生徒/職員 1人当り面積 未活用			
	老朽化の状況	劣化度調査	実施年月：2020年12月 結果：異常無し		
定期点検		実施年月： 年 月 結果：			
修繕履歴		実施年月： 年 月 結果：			
特記					
優先度	建物性能	高			
	劣化：年数	高：A異常無		高	
	利用度	高			
	1次評価	維持管理			
重要度	重要性	85: 国際線関連施設あり、国際線定期便の就航や更なる誘致にあたり必須の施設である。			
	見通し	-10: 利用者増が見込めるものの、施設の多目的利用や複合化は見込めない。			
2次評価	I (60点以上)				
総合判定	維持管理		優先度 3		
評価結果	代替施設がないことなどを考慮し、計画的に施設の維持修繕を図り、引き続き施設維持していくことが妥当。				

個別施設計画（個票）

番号	12	策定年月	令和3年3月	最終更新	令和3年3月
施設名	空港ターミナルビル（新增築-北）			財産区分	行政財産

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

<p>ア 社会経済情勢等の変化への対応</p> <p>定期就航便の拡大など需要の変化に対応し、国際線の受入機能の向上を図るため、平成28年に新ターミナルビルの増築を行い、新たな国際線関連施設として使用している。</p> <p>なお、新ターミナルビルは岩手県空港ターミナルビル株式会社が所有・管理しているが、国際線に係る増築部は岩手県が所有・管理している。</p> <p>イ 公共施設の有効活用</p> <p>余剰スペースは特に存在しない。</p>

(2) 施設内建物ごとの方針

区分	方	針
庁舎	(1)施設全体方針に同じ。	

3 長寿命化等対策の内容と実施時期

(1) 長寿命化等対策の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・建物性能・劣化度調査の結果等を踏まえ、今後とも県が保有し施設の有効活用を図っていくことが適切であることから、計画的に長寿命化を実施する。 ・計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の軽減や平準化に取り組んでいく。

(2) 対策の内容

区分	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
庁舎	日常点検に基づく維持修繕				

(3) 概算経費

37		百万円	
【概算費用内訳】	【財源内訳】		(単位：百万円)
維持管理費	-	一般財源	- (対象施設全体で249百万円を見込む) (うち、一般財源249百万円)
更新費			
建築	25	〃	25
電気設備	3	〃	3
機械設備	10	〃	10